

Sabo Hike

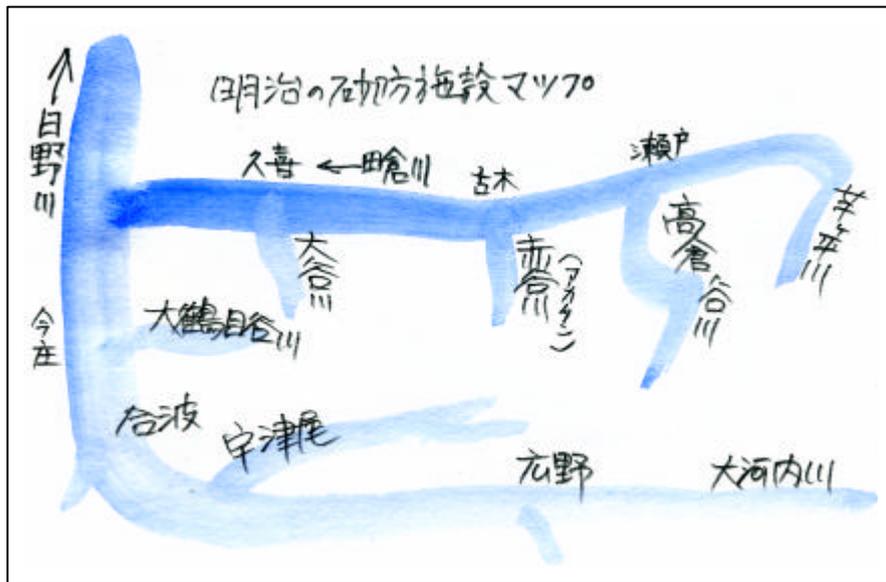
日野川砂防ハイク プロジェクト



砂防パーク プロジェクト

日野川上流(今庄地域)には、数多くの歴史的砂防遺産が点在し機能しています。これらを見学しながら田舎の川をハイクできるように周辺を整備し、案内板や解説板を設置していくプロジェクトを「日野川砂防ハイク」と呼びます。赤谷川や高倉谷川では、先人の造った優れた砂防施設を保全し、生活防災としての文化的価値意識を住民自ら形成しています。歴史文化に根ざした山村の新たな河川文化を、次世代に引き継いでいきたいと願っています。

明治28年豪雨災害が発生しました。福井県は、今庄地域に8ヶ所の砂防指定をしました。明治33年から40年にわたり工事が行われました。この地域には、大正時代や昭和初期の石積砂防堰堤も数多く点在しています。石積堰堤や床張工、斜路工、山腹石垣など歴史的砂防施設遺産の宝庫で、まるごと砂防パークと言えます。また、すぐれた石工職人がたくさん育ったところで、現在も野面積み石工さんが元気に活躍しています。



【平成18年度活動計画】

平成18年6月24日 「土砂災害防止月間活動」大鶴目石積砂防へ「砂防ハイク」
明治の砂防堰堤見学、石工さんとのトーク、草刈り整備作業、上堰堤探し、自由散策
広野入谷砂防 高倉谷砂防 大河内川砂防施設の保全と活用住民活動支援
大谷川砂防施設の保全と活用住民活動支援、8月3日キャンプ砂防受け入れ